



令和元年第2回県議会定例会 (6月提案分)

提出予定議案の概要 (農業関係部分のみ抜粋)

I 令和元年度6月補正予算総括表【環境農政局関係】

(一般会計)

(単位 千円)

内 訳 科目	令 和 元 年 度		
	当 初 予 算 額 A	6月補正 予 算 額 B	6月現計 予 算 額 C=A+B
(款) 環 境 費	10,815,991	117,031	10,933,022
(項) 環 境 管 理 費	7,917,573	—	7,917,573
(項) 環 境 保 全 対 策 費	1,781,710	9,704	1,791,414
(項) 自 然 保 護 費	1,116,708	107,327	1,224,035
(款) 農 林 水 産 業 費	14,678,202	602,034	15,280,236
(項) 農 業 費	1,482,135	14,257	1,496,392
(項) 畜 産 業 費	301,949	41,645	343,594
(項) 農 地 費	2,144,401	250,998	2,395,399
(項) 林 業 費	8,387,245	261,908	8,649,153
(項) 水 産 業 費	2,362,472	33,226	2,395,698
(款) 災 害 復 旧 費	283,400	—	283,400
(項) 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	283,400	—	283,400
一 般 会 計 計	25,777,593	719,065	26,496,658

(特別会計)

特 別 会 計 計	9,264,820	—	9,264,820
-----------	-----------	---	-----------

環 境 農 政 局 計	35,042,413	719,065	35,761,478
-------------	------------	---------	------------

2 補正予算案の主な内容

(1) 健康長寿 (略)

(2) 経済のエンジン (農業関係部分のみ抜粋)

- 一部 ④ ○ 里地里山保全等促進事業費 355 万円
里地里山を保全する団体の活動資金確保の一助とするため、地域資源の発掘・磨き上げ、当該資源を活用したモデルツアーを実施する。
- 一部 ④ ○ スマート農業試験研究費 880 万円
農作業の効率化による負担軽減を実現するため、新たにドローン等を活用した技術の開発等を行うとともに、スマート農業技術の導入に関する研修会等を開催する。
- 一部 ④ ○ 酪農活性化推進事業費 271 万円
後継者不足等による酪農家の廃業を食い止めるため、酪農家を目指す高校生等の雇用の受け皿となる新たな組織の設立に向けて、調査・検討を行う。
- ④ ○ 豚コレラの発生・拡大を予防する取組み 3,892 万円
豚コレラの発生・拡大を予防するため、養豚場が行う野生イノシシの侵入防止対策に対して補助するとともに、畜産技術センター（海老名市本郷）の防疫体制や家畜保健衛生所の初動体制を強化する。
- ### (3) 安全・安心 (略)
- ### (4) ひとのチカラ (略)
- ### (5) まちづくり (農業関係部分のみ抜粋)
- 一部 ④ ○ 地域ぐるみ鳥獣被害対策推進費 149 万円
鳥獣の出没把握の省力化と効率化に取り組むため、ドローン等を使用して撮影された野生動物の画像の AI による識別を実施する。

新 豚コレラの発生・拡大を予防する取組み

1 目的

豚コレラの発生・拡大を予防するため、養豚場が行う野生イノシシの侵入防止対策に対して補助するとともに、畜産技術センター（海老名市本郷）の防疫体制や家畜保健衛生所の初動体制を強化する。

【豚コレラについて】

平成30年9月に、岐阜県の養豚場において、日本では、26年ぶりとなる豚コレラの発生が確認された。

万が一、本県においても発生し、国の指針に基づく豚のと殺等の防疫措置を講じた場合、養豚業の再建は極めて難しくなるため、発生・拡大を予防する取組みが重要となる。



【豚コレラの防疫措置対応状況】
（農林水産省HPより）

2 補正予算額 3,892万円

3 事業内容

事業名及び事業概要		補正予算額
①	①養豚農家の防護柵設置に対する補助 野生イノシシ侵入防止のため、養豚場における防護柵設置に係る経費に対して補助する。	960万円
②	②初動防疫体制の整備 迅速な豚のと殺を行うための電撃式殺処分機と、豚の死体や汚染物品等を収容・運搬するためのコンテナバックを備蓄する。	724万円
③	③畜産技術センターの防疫対策施設の整備 国の基準に則り、野生動物の豚舎内侵入を阻止するための防鳥ネットと、衣類に付着したウイルスの持ち込み防止のための更衣室を整備する。	2,208万円
合 計		3,892万円



【養豚場における防護柵のイメージ】



【畜産技術Cにおける防鳥ネットのイメージ】

問合せ先

環境農政局農政部畜産課 課長 高尾 電話 045-210-4500

未来社会創造につながる取組み

1 目的

高齢化の進展などにより顕在化している様々な課題に対応するため、市町村や民間、アカデミア等と連携して、最新・最先端技術の社会実装やコミュニティの再生・活性化など、神奈川の未来社会創造につながる取組みを推進する。

2 補正予算額 5, 1 8 6 万円

3 事業内容

区分	事業名及び事業概要	補正予算額
	(1) ドローン前提社会実現に向けた取組み	1,621万円
①	①ドローン前提社会推進事業費 ドローン前提社会の実現に向けて、課題解決の提案や関係者間の調整等を行うため、市町村や民間事業者と連携して「神奈川ドローン実証ネットワーク」（仮称）を構築するとともに、社会課題解決に向けたモデル事業の推進や、普及啓発を行う。	592万円
一部①	②スマート農業試験研究費 農作業の効率化による負担軽減を実現するため、新たにドローン等を活用した技術の開発等を行うとともに、スマート農業技術の導入に関する研修会等を開催する。	880万円
一部①	③地域ぐるみ鳥獣被害対策推進費 鳥獣の出没把握の省力化と効率化に取り組むため、ドローン等を使用して撮影された野生動物の画像のAIによる識別を実施する。	149万円
	(2) かながわのSDGs（持続可能な開発目標）の取組み	2,970万円
①	④SDGsつながりポイント事業費 SDGsの達成を図るため、ビーチクリーン運動など、地域の社会的課題の解決に向けた取組みに参加した方に「SDGsつながりポイント」を付与し、その「想い」に賛同する企業や店舗でポイントを利用してもらう仕組みを構築することにより、多様な主体の「想い」をつなぎ、行動を後押しする。	2,000万円
①	⑤プラスチックごみ削減推進事業費 「かながわプラごみゼロ宣言」に基づき、スポーツチーム等と連携したごみ回収イベントや、そこで回収したペットボトルを原料としたオリジナルグッズの作製など、普及啓発を行う。	970万円

区分	事業名及び事業概要	補正予算額
(3)	コミュニティ再生・活性化に向けた取組み	350万円
⑥	⑥コミュニティ再生・活性化推進事業費 コミュニティの再生・活性化を図るため、市町村や関係団体等と情報共有する場を設置し、テクノロジーの導入を含めた実践への仕掛けや気づき等をフィードバックするとともに、優良事例を集約した事例集を作成し、共有する。さらに、最前線で活躍する団体や個人にスポットライトをあて、コミュニティ再生・活性化の更なる推進を図る。	350万円
(4)	その他未来社会創造をけん引する取組み	243万円
⑦	⑦ナッジ推進事業費 事業をより効果的に展開するため、従来の政策手法を補完する新たな手法として、県民が、自発的に「してみたいくなる」ような行動変容を促す「ナッジ」※を活用する。 ※ 個人が特定の決断や行動をするように「そっと後押しする」ことで、自発的な行動変容を促す行動経済学の分野で提唱されている手法	99万円
⑧	⑧データ利活用手法検討事業費 ニーズに応じた質の高い県民サービスを提供するため、新たに設置したCDO（データ統括責任者）の下で、多様なデータの利活用のあり方について、専門家の意見を聴きながら、幅広く検討を行う。	144万円
合 計		5,186万円



【ドローン前提社会実現に向けた取組み】



ごみ回収イベント等による普及啓発事業を実施

【プラスチックごみ削減推進事業費】

問合せ先				
【②】	環境農政局農政部農政課	課長	石井	電話 045-210-4401
【③】	環境農政局緑政部自然環境保全課	課長	田中	電話 045-210-4301
【④】	政策局SDGs推進課	課長	船山	電話 045-285-1052
【⑤】	環境農政局環境部資源循環推進課	課長	穂積	電話 045-210-4170
【⑧】	総務局ICT推進部ICT・データ戦略課	課長	貝瀬	電話 045-210-3390
【上記以外】	政策局未来創生課	課長	杉山	電話 045-285-0379